

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 福岡県立ももち文化センター
- 2 指定管理者名： JTB・ファビルス共同事業体
- 3 指定期間： 平成27年4月1日～令和2年3月31日
- 4 施設設置目的： 県民に文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
 - (1)点検方法： 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果： 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置経緯と目的を踏まえた施設運営の理念を定め、広く県民に親しまれる施設として文化振興に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ももち文化センターの設置目的を踏まえた上で、管理運営理念「県・地域の課題を地域文化を通してともに解決していく施設へ」のもと、県民の主体的で多様な文化活動と地域社会を積極的に支援・けん引し、県民の方々に親しまれる施設運営を行い、本県の文化芸術の振興を図っている。 ふくおか県民文化祭等、県事業に積極的に協賛し、県施策への貢献と施設のPRに努めた。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> 多くの県民が文化芸術に親しみ、参加できるように、利用者の声を聞き、サービス向上に努める。 <p>（目標：利用者数 400,000 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの自主事業を踏襲しながら、「舞台芸術の振興と文化団体の育成の場」の原点に立ち返り、また、地域文化の拠点として地域コミュニティをつなげる自主事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理業者としての専門性を活かし、築46年を経過した施設の機能維持と安全性の確保に常に注意を払い、施設利用に支障が出ないように、1日2回の館内外の巡回を行い、不具合や危険箇所の早期発見、早期対応に努めた。 施設におけるサービス向上のため、大ホールの和式トイレの洋式化（ウォシュレット機能付き）への変更、防犯カメラの増設（2台）、貸室内蛍光灯のLED化（132本）などの施設整備を積極的に行った。 地下鉄駅構内への案内板設置や無料貸出傘の準備、駐車場バリアーへの緩衝材の貼付など利用者目線に立ち、きめ細やかな対応によるサービス向上に努めた。 <p style="text-align: center;"> { 利用者数：420,565人（対前年度 +1.1%） 施設稼働率：74.7%（対前年度 +0.3%） </p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの事業を踏襲し、自主事業の受講生や文化団体活動の成果発表として、さまざまな発表会を開催するなど、鑑賞機会の提供にとどまらず、体験や文化活動、発表などの機会提供を通じて、人材の育成などの観点から、地域文化の振興に寄与する事業を実施している。 昨年度実施した、小学校特別支援学級における演劇の手法を利用したワークショップを引き続き実施するとともに、新たに障がいのある人のための演劇&ダンスワークショップを実施するなど、「社会包摂事業」への取り組みを本格稼働させ、誰もが生涯を通じて文化芸術に親しめる場や機会の提供に努めた。 <p style="text-align: center;"> } </p> <p> 自主事業数：51事業（うち、新規10事業）（対前年度 +3事業） 参加者数：50,379人（対前年度 △17.5%） <主なもの> （新規）「特別支援学級での演劇の手法をつかったワークショップ」、 （新規）「障がいをもつ中学生～大人のための演劇&ダンスワークショップ」、 （新規）「障がい者の方々とのお舞台芸術公演「PEOPLE ART PERFORMANCE」、 「ももち環境フェスタ」、「ももちパレス ロビーコンサート」、「ガルシア・ロルカ悲劇3部作」など </p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 「ムダを削るがムリはしない」を前提に、業務量の変化に応じた柔軟な管理体制・本社支援体制を構築し、効率的な経営を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率向上により、利用料金収入は前年比約216万円増となった。 <ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入実績：83,908千円（対前年度 +2.6%） 県委託料（指定管理料）：80,072千円（対前年度 +0.7%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 統括管理責任者のほか、適切な経験を有する人材を配置し、利用状況に合わせた効率的かつ職員に無理のない柔軟なシフト体制を構築することで、安定的なサービスを提供するとともに利用者サービスの向上につながる体制づくりに努める。 指定管理者として望まれる安定した経営と財政基盤を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門的知識・技術を有する者や現場対応経験者を配置するなど、適正な人員体制を確保している。 接遇や人権研修など、様々な職員研修を実施し、職員のサービス・コンプライアンスの意識・能力の向上に努めている。 債務超過もなく、構成団体の資産等状況は良好である。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護や情報公開に関する規程を整備し、適正な個人情報保護及び情報公開に努める。 災害等の緊急時には策定したマニュアルに即した対応を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、危機管理に対する職員の教育を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護、情報開示について、マニュアルや規程の整備、職員研修の実施により適切な対応に努めている。 災害、暴力的行為等に迅速かつ適切な対応ができるよう、マニュアルの整備と職員への周知、訓練を実施している。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input checked="" type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの県民に幅広いジャンルの芸術鑑賞や体験、活動、発表など、多様な文化活動の場を積極的に企画・提供し、地域の文化団体等と連携した多彩な自主事業を実施している。 障がいのある人を対象とした演劇とダンスのワークショップや、障がいのある人、不登校経験者、高齢者などによるダンス作品の上演など、誰もが生涯を通じて文化芸術に親しめる場や機会を提供することを目的に、新たに社会包摂事業に取り組んでいる。 施設の機能維持と安全性の保持に配慮した迅速で適切な対応を行うとともにトイレの洋式化（ウォシュレット機能付き）や利用者の要望を踏まえたユニバーサルサービス対応の実施、防犯カメラの増設（2台）など利用者の安全性の確保に配慮したサービスの向上に努めている。 施設サービスの向上と積極的な営業による新規利用者の獲得に努めた結果、施設利用者数は目標及び前年度実績ともに上回っている。また、利用料金収入・施設稼働率は前年度実績を上回っている。 <p>以上から総合的に判断した結果、提案内容をやや上回った管理運営が行われている。</p>
---	--